

## 第4章 本計画の重点的な取り組み

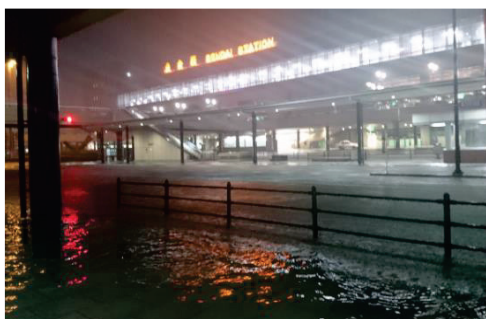
### 4-1 浸水対策

雨に強いまちづくりを目指し、雨水排水施設の整備や、既存施設の排水機能の確保、自助・共助等の取り組みを組み合わせた総合的な浸水対策を進めます。

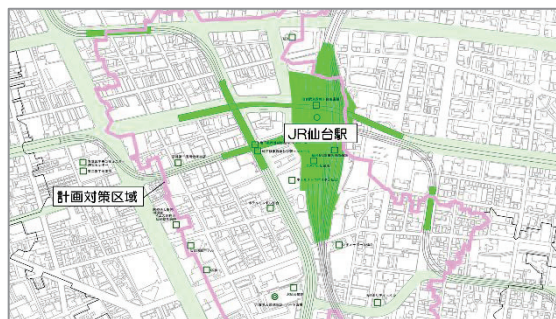
#### ◆仙台駅西口地区浸水対策◆

都市機能が高度に集中し経済活動への影響も大きい仙台駅西口地区は、早くから下水道の整備が進みましたが、近年の都市化に伴い管路の能力不足が顕著となっており、道路冠水や地下施設への流入等の浸水被害が度々発生し、令和元年東日本台風でも広範囲に浸水被害が発生しました。

そこで仙台駅西口地区の浸水被害軽減のため、「仙台駅西口地区大規模雨水処理施設整備事業計画」を策定し、令和2年度より雨水幹線の整備などに着手、本計画でも継続して当該地区の浸水対策を進めます。



仙台駅西口の浸水状況



整備計画図

#### ◆下水道施設の機能確保◆

地域に身近な雨水排水施設である道路側溝や水路等は、近年の局地的な短時間豪雨や台風等による浸水・冠水被害の発生により、適切な維持管理の必要性がより高まっています。これら雨水排水施設の流下機能や貯水機能を確保し、大雨時の浸水リスクの低減を図るため、道路側溝の清掃や水路の浚渫等、より計画的な維持管理を実施します。

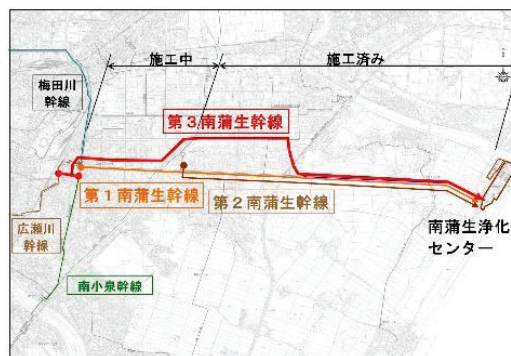
### 4-2 地震対策

地震発生時における都市機能及び公衆衛生の確保を図るため、耐震性能が不足する下水道施設の耐震化を進めます。

#### ◆第3南蒲生幹線整備◆

本市の最重要幹線である第1・2南蒲生幹線は、常時満水で点検・調査が困難であるため、引き続きこれらのバックアップ路線として計画した第3南蒲生幹線の整備を進めます。

当該幹線完成後は、第1・2南蒲生幹線の送水機能を順次、第3南蒲生幹線に切替え、耐震化に向けて点検・調査に着手します。



整備計画図

### 4-3 再構築

「第3章 仙台市下水道事業の現状と課題」で述べた老朽化対策や地震対策、浸水対策等の複合的な課題を総合的に解決するため、施設の特長や社会的ニーズ、ライフサイクルコスト等を総合的に勘案し、新たな視点を加えた再構築事業に取り組みます。

#### ◆郡山ポンプ場再構築◆

本市の基幹ポンプ場である郡山ポンプ場は、機器の老朽化や建物の耐震性不足、ポンプの能力不足等様々な課題を抱えています。そのため、施設の特長や立地環境等を勘案したうえで、多様化・複雑化している課題を総合的に解決し、機能高度化なども図れるよう、ポンプ場再構築計画の策定等を進めます。



郡山ポンプ場

### 4-4 老朽化対策

#### ◆リスク評価に基づく効率的・効果的な保全◆

今後、管路施設や設備の老朽化が急速に進行していくことから、事故発生や下水道施設の機能停止を未然に防止するため、保全方針に基づき計画的に点検・調査を実施するとともに、アセットマネジメントに基づき構造面や機能維持の面でリスクの高い管路施設や設備に対して優先的に改築工事を実施するなど、引き続き効率的・効果的な老朽化対策を進めます。



管路施設の調査

### 4-5 経営の安定化

#### ◆経営安定化のための取り組み◆

将来的な人口減少や節水機器の普及等により下水道使用料収入の減少が見込まれる一方、老朽化が進む下水道施設の修繕や改築に要する費用等が増加していくことから、下水道事業を取り巻く経営環境は一層厳しいものとなります。今後も安定的な事業運営を行っていくために、引き続きアセットマネジメントによる効率的な経営を行っていくとともに、長期収支シミュレーションにより本市下水道事業の中長期的な経営状況を把握し、下水道使用料体系見直しの検討を含め、経営安定化に向けた取り組みを進めます。